

論文審査の結果の要旨

報告番号	乙 第 3132 号	氏名	北原 加奈之
論文審査担当者	主査 川添 和義 副査 石野 敬子 副査 小林 靖奈		
<p>論文題名 : Developing a Japanese version of the Scale of Attitudes Toward Pharmacist-Physician Collaboration' (Scale of Attitudes Toward Pharmacist-Physician Collaboration 日本語版の開発)</p> <p>掲載雑誌名 : Journal of Interprofessional Care Vol.15 p.1-7 2020 年</p> <p>本論文は、職種間連携の程度を評価するために開発された Scale of Attitudes Toward Physician-Pharmacist Collaboration (SATP²C) の日本語版を作成し、日本において適応可能かを検証したものである。</p> <p>順-逆翻訳法により SATP²C の日本語版を作成し、その信頼性は、昭和大学に勤務する医師 21 名、薬剤師 62 名を対象とし、Cronbach α と級内相関係数を算出して評価した。また、妥当性と反応性は、医学生 25 名、薬学生 29 名を対象とし The Readiness for Interprofessional Learning Scale (RIPLS) を対照として基準関連妥当性を評価した。その結果、信頼性の評価において、すべて substantial の判定であった。また、妥当性、反応性も基準を満たしていた。</p> <p>今回、申請者が開発した SATP²C 日本語版を研究の限界点に留意し活用することで、これまで実施することができなかった我が国での臨床教育の施設間比較や国際比較が可能となるとともに、職種間連携教育 (IPE) の実施や評価にも大きく寄与するものと考えられる。</p> <p>以上の内容は薬学的観点から重要な事項を含み、今後の薬学教育に資するものである。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載, 500 字以内)